

「京都大学生涯メールサービス」 プライバシーポリシー

平成28年2月1日制定

第1 趣旨

このプライバシーポリシーは、国立大学法人京都大学（以下「本学」といいます。）が、京都大学生涯メールサービス（以下「本サービス」といいます。）の運用に当たって、法令及び京都大学における個人情報の保護に関する規程等（以下「規程等」といいます。）に基づき、本サービス利用者（京都大学生涯メールサービス利用規約第2条5項に定めるものをいいます。以下同じ。）の個人情報を保護するために定めるものです。

第2 個人情報の定義

このプライバシーポリシーにおいて「個人情報」とは、生存する個人に関する情報であつて、当該情報に含まれる氏名、生年月日その他の記述等により特定の個人を識別することができるもの（他の情報と容易に照合することができ、それにより特定の個人を識別することができることとなるものを含みます。）、ならびに本サービスの運用上必要のある学生番号、離籍年月、離籍時の所属組織・部局、メールアドレス等、本サービス利用者個人を識別できるものをいいます。

第3 個人情報の取得

- 1 本学は、本サービス利用者が生涯メールアドレス若しくは本サービスの利用を申請し、又はこれらを利用する際に、利用者に関する個人情報を取得します。
- 2 本学は、本サービスによって取得した個人情報を、既に取得している本サービス利用者の個人情報と紐付けて保持することがあります。
- 3 本学は、本サービス利用者の IP アドレス、クッキー情報や本サービス利用者が閲覧したページ、本サービス利用者の登録環境などの情報を本サービス利用者のブラウザから自動的に受け取り、サーバーに記録します。

第4 個人情報取得の目的

本学が本サービスにおいて本サービス利用者の個人情報を取得する目的は、次の各号に掲げるとおりです。

- (1) 本サービス利用者の本人確認
- (2) 本サービスに関する各種情報の提供（メール、郵送その他の通信手段による提供を含む。）
- (3) 本サービス利用者的人数等の統計

第5 個人情報の第三者への提供

本学は、法令に定める場合を除き、本サービス利用者の個人情報を、事前に本人の同意を得ることなく、第三者（このプライバシーポリシー第6第2項の委託先及び第7の共同利用者を除きます。）に提供しません。ただし、次の各号に掲げる場合は、本サービス利用者本人の同意なく個人情報を提供することがあります。

- (1) 行政機関、司法機関その他これらに準ずる機関から適法に照会があった場合
- (2) 本サービス利用者が、法令又は本学が定める規約等に違反した場合
- (3) 本サービス利用者が、法令又は本学が定める規約等に違反した場合
- (4) 本サービス利用者の利用上の行為について、社会通念上問題があると判断された場合
- (5) 本学又は第三者の権利利益を保護するため必要とする場合
- (6) 個人を識別又は特定できない態様にて個人情報を集計、分析等する場合
- (7) その他法律等に基づき開示又は提供を行う場合

第6 個人情報の管理

- 1 本学は、保有する個人情報について正確性を保つとともに、その紛失、破壊、改ざん及び漏えいなどを防止するため、不正アクセス、コンピュータウイルス等に対する適正な情報セキュリティ対策を講じます。
- 2 本サービス利用者にサービスを提供する目的で、本学が第三者に業務を委託する場合は、委託先に対し、必要な範囲に限定して本サービス利用者の個人情報を提供し、機密保持等の契約等を締結の上業務委託先の管理を適切に実施します。

第7 個人情報の共同利用

本学は、本サービスによって取得した情報を含む本サービス利用者の個人情報を、京都大学同窓会との間で下記のとおり共同利用することがあります。

- (1) 目的 同窓会に関するお知らせ
- (2) 共同して利用する項目 氏名・生年月日・離籍年月、離籍時の所属組織・部局、メールアドレス等
- (3) 共同利用する個人データの管理について責任を有する者 京都大学同窓会

第8 個人情報の開示、訂正、利用停止等

- (1) 本学は、法律等に基づき、本サービスに登録される個人情報に係る本人から個人情報の開示、訂正、利用停止等の請求があった場合は、当該請求の内容に応じて、①～③のとおり開示、訂正、利用停止等を行うこととします。
 - ① 本学は、本人から個人情報の開示請求があった場合は、本人確認の上、当該本人の個人情報を開示します。
 - ② 本学は、本人から個人情報の内容について訂正の請求があった場合は、その内容を確認した上で、必要に応じて、当該内容の追加、変更又は訂正を行います。

③ 本学は、本人から当該開示対象個人情報の利用の停止、消去又は第三者への提供の停止の請求があった場合で、当該請求に理由があると認めるときは、これに応じます。

また、措置を講じた後は、遅滞なくその旨を本人に通知します。

(2) (1) の定めにかかわらず、当該請求が以下の①～③のいずれかに該当する場合は、当該請求に応じることができない場合があります。その場合、本人にその旨を通知し、理由の説明を行います。

① 本人又は第三者の生命、身体、財産その他の権利利益を害するおそれがある場合

② 本学の業務の適正な実施に著しい支障を及ぼすおそれがある場合

③ その他法律等に基づき請求に応じられない場合

第9 プライバシーポリシーの改正について

本学は、このプライバシーポリシーの全部又は一部を改正することがあります。重要な改正については、生涯メールアドレス宛ての通知その他本学が適切と判断する方法により、利用者にお知らせします。

第10 その他

このプライバシーポリシーに定めるもののほか、本サービスにおける個人情報の保護については、規程等の定めるところにより適切に実施します。

平成28年2月1日制定

平成29年7月13日一部改正

令和元年10月1日一部改正